



成岩中学校だより

令和7年9月8日

厳しい暑さが続いています。9月1日（月）、2学期の始業式を行いました。生徒たちが新たな気持ちでスタートを切り、学習や行事、部活動などさまざまな活動に取り組む姿を楽しみにしています。今学期も教職員一同、生徒たちの成長をしっかりと支えてまいりますので、保護者の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年度2学期始業式 校長式辞

皆さん、おはようございます。今日から2学期が始まります。長い夏休みを終え、こうして元気に顔を合わせられたことを、とても嬉しく思います。この夏休み、皆さんはどんな夏休みだったでしょうか。

部活動や地域のクラブ活動に励んだ人も多かったと思います。先ほど表彰伝達がありました。郡大会やコンクールで練習の成果を発揮しようと頑張ったことと思います。私も応援に行き、その頑張りを間近で見て誇らしく感じました。さらに、県大会や東海大会に進み、全国大会で入賞という素晴らしい結果を出した人もいます。心からお祝いをします。ただ、結果が思うように出せた人もいれば、そうでなかった人もいます。しかし大切なのは、結果以上に「努力してきた過程」です。その積み重ねは、皆さんのこれからの人生に必ず意味をもつものです。自信を持ってください。

また、地域の行事でボランティアに参加した人、家族と過ごした人、学習に励んだ人など、それぞれの夏を過ごしたことでしょう。この経験をもとに、2学期も学校生活で力を発揮してほしいと思います。2学期は、皆さんにとって学びと挑戦の多い大切な時期です。

- 1年生は野外活動で仲間と協力し、自分たちで活動を作り上げる経験を積みます。
- 2年生は学校の中心となり、さまざまな活動を引っ張ってくれることでしょう。
- 3年生は自分の進路を真剣に考え、決定していく大切な学期といえます。

2学期は、最大の行事であるひまわり祭もあります。それぞれの学年の皆さんが、目標に向かって力を発揮し、日々の学校生活を充実させてほしいと思います。

さて、ここで皆さんに一つお話をします。

最近、豊明市の「スマートフォン等の適正使用の推進に関する条例案」が話題になっています。内容は、仕事や勉強を除きスマホの使用時間を「1日2時間まで」と目安を示すものです。罰則はありませんが、議論を呼んでいます。

「家庭の問題だ」「2時間は無理」「効果が無い」など否定的な意見が多くありますが、スマホやSNSの利用が社会問題になっているのは事実です。オーストラリアでは16歳未満のSNS利用禁止が法律で定められ、今年12月に施行されます。フランスでも同様の議論があります。

スマホやSNSは便利ですが、使いすぎれば学習時間や睡眠時間を奪い、集中力を下げ、人とのつながりも弱めます。さらに「やめたいのにやめられない」依存状態になる危険もあります。時間や健康の浪費は、将来に大きなマイナスです。

だからこそ大切なのは「自分をコントロールする力」——すなわち「セルフコントロール」です。セルフコントロールができれば、勉強や部活動に集中でき、友達や家族との関係も大切にできます。失敗しても立ち直る力が身につき、日々の行動を自分で律することが、将来の夢を実現する土台になります。では、セルフコントロールを身につけるには、どうしたらよいのでしょうか。

- ・自分の時間や行動を計画する
- ・小さな目標を立てて達成する習慣を積む
- ・誘惑に流されそうなとき、一呼吸置いて自分を見つめ直す

こうした積み重ねによって、自分をコントロールでき、皆さんの将来を充実させると 생각합니다。ぜひスマホとの向き合い方も改めて考え、一人ひとりが自分の時間を大切に、セルフコントロールを意識して行動してください。そして、2学期が素晴らしい学期となるよう一緒に頑張っていきましょう。

2学期の始業式の後、生徒指導担当の西明先生から、生徒たちに次のようなお話がありましたので、ご紹介します。

「あいさつの力」

先生は夏休みに「3キロやせる！」という目標を立てました。しかし結果は……逆に2キロ増えてしまいました。理由は、4歳の娘に「パパ、一緒にアイス食べよ～」と誘われ、断れず、つい「今日だけはいいか」と一緒に食べてしまったこと。それが続き、気づけば夏休みの終わりには、体重もプラスになってしまいました。これが、もし娘から、「カッコいいパパがいいな」って言われたら……たぶん夜中に走って、このような結果にはならなかったかもしれません。

この経験を通して伝えたいのは、「人は周りから大きな影響を受けている」ということです。皆さんは「5人の法則」という考え方知っていますか？「人は、最も多くの時間を共に過ごす5人の平均になる。いつも一緒にいる4人の影響を受けて、5人目のようになっていく」というものです。

たとえば、文句ばかり言う人のそばにいれば、自分も文句を言うようになります。逆に、前向きで笑顔の人と一緒に過ごせば、自分も自然と明るくなります。

ここで忘れてはいけないのは、自分自身もまた「誰かに影響を与える4人のうちの1人」であるということです。つまり、自分の言葉や行動が、誰かの「5人目」をつくっているのです。では、どうすれば「よい影響を与える1人」になれるのでしょうか。

答えはシンプル。それは「あいさつ」です。

自分から「おはよう！」と声をかける、相手が落ち込んでいたら「大丈夫？」と声をかける。そうした小さな行動が、安心感や信頼を生みます。職員室でも、元気に「おはようございます！」と声をかけてくれる先生や、笑顔であいさつを返してくれる先生がいると、自然と周りも明るくなります。あいさつは、人間関係をつくる最初の一步なのです。

2学期は、新しい目標を立てて挑戦する季節です。しかし、その目標は仲間の支えがあってこそ続けられるもの。仲間づくりの第一歩が「あいさつ」です。

「おはよう」「ありがとう」「さようなら」——そんな当たり前の言葉を自分から発信することが、クラスや学校全体の雰囲気を変えていきます。自分から周りにより影響を与えるためにあいさつを心がけてほしいと思います。

最近の行事から

学校公開日(9/4(木)・5(金))

2日間にわたり学校公開日を行い、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。4日(木)には「1年生野外活動説明会」と「3年生進学説明会」も実施しました。

1年生は、実行委員を中心に準備を進めており、思い出に残る充実した行事となることを期待しています。

また、3年生にとっては進路を考える大切な時期を迎えています。自分自身を振り返り、将来を見据えながら、一人ひとりが納得できる進路選択をしてほしいと思います。



【3年生進学説明会の様子】